

栽培実験計画書

栽培実験名	ラウンドアップ・レディー・テンサイ(除草剤グリホサート耐性テンサイ)の雑草防除効果
実施会社・法人名	日本モンサント株式会社
公表年月日	平成 19 年 5 月 7 日
<p>1. 栽培実験の目的、概要</p> <p>(1) 目的 すでに安全性が確認されているラウンドアップ・レディー・テンサイの雑草防除の効果を確認するため。</p> <p>(2) 概要 本栽培実験は日本モンサント株式会社の隔離ほ場で、平成 19 年 5 月上旬から平成 19 年 11 月まで栽培実験を行う予定です。ラウンドアップ・レディー・テンサイの実験では、除草剤耐性の本来の特性を確認するための除草剤ラウンドアップ散布区のほか、土壌処理剤などによる慣行栽培区、無除草区を設けて、それぞれの雑草防除効果を比較できるようにします。</p>	
<p>2. 栽培実験に使用する第 1 種使用規程承認作物</p> <p>(1) 作物の名称 除草剤グリホサート耐性テンサイ H7-1 (<i>cp4 epsps</i>、<i>Beta vulgaris</i> L. ssp. <i>vulgaris</i> var <i>altissima</i>)</p> <p>(2) 第 1 種使用規程の承認取得年月日等 本実験に使用するラウンドアップ・レディー・テンサイは「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律」(通称カルタヘナ法)に基づき平成 19 年 4 月 24 日に第一種使用等の承認を取得しています。</p> <p>(3) 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性 食品安全性は平成 15 年に厚生労働省より、飼料安全性は平成 17 年に農林水産省によって確認されています。</p>	
<p>3. 栽培実験の全体実施予定期間、栽培開始予定時期及び栽培終了予定期間</p> <p>(1) 全体実施予定期間 平成 19 年 5 月より平成 19 年 11 月まで行う予定。</p> <p>(2) 栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期等 ラウンドアップ・レディー・テンサイ(除草剤グリホサート耐性テンサイ)の雑草防除効果 平成 19 年 5 月上旬: 播種 平成 19 年 11 月 : 栽培終了</p>	
<p>4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内の区画配置関係)</p> <p>(1) 第 1 種使用規程承認作物の栽培規模 約 150 m²</p> <p>(2) 栽培実験区画の位置 日本モンサント株式会社河内研究農場の隔離圃場 住所 : 茨城県稲敷郡河内町生板字堤向 4475-2</p>	

5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

交雑防止措置の内容

本組換えテンサイは、試験中に開花することはないので、交雑防止措置は特に行いません。

6. 研究所等内での収穫物、実験材料への混入防止措置

本組換えテンサイを隔離ほ場で運搬する場合には、密閉された容器を使用し、混入を防止します。

7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物の処理方法

栽培終了後の植物体は、鋤き込み、または隔離ほ場内に設置されている焼却炉で焼却します。

8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項

本件の第1種使用規程承認申請に関わる生物多様性影響評価概要は、環境省バイオセーフティークリアリングハウスのホームページ (<http://www.bch.biodic.go.jp/>) で公開されています。

本実験に係る連絡先:

日本モンサント株式会社 バイオ作物情報部

電話番号: 03-6226-6081

FAX 番号: 03-3546-6191

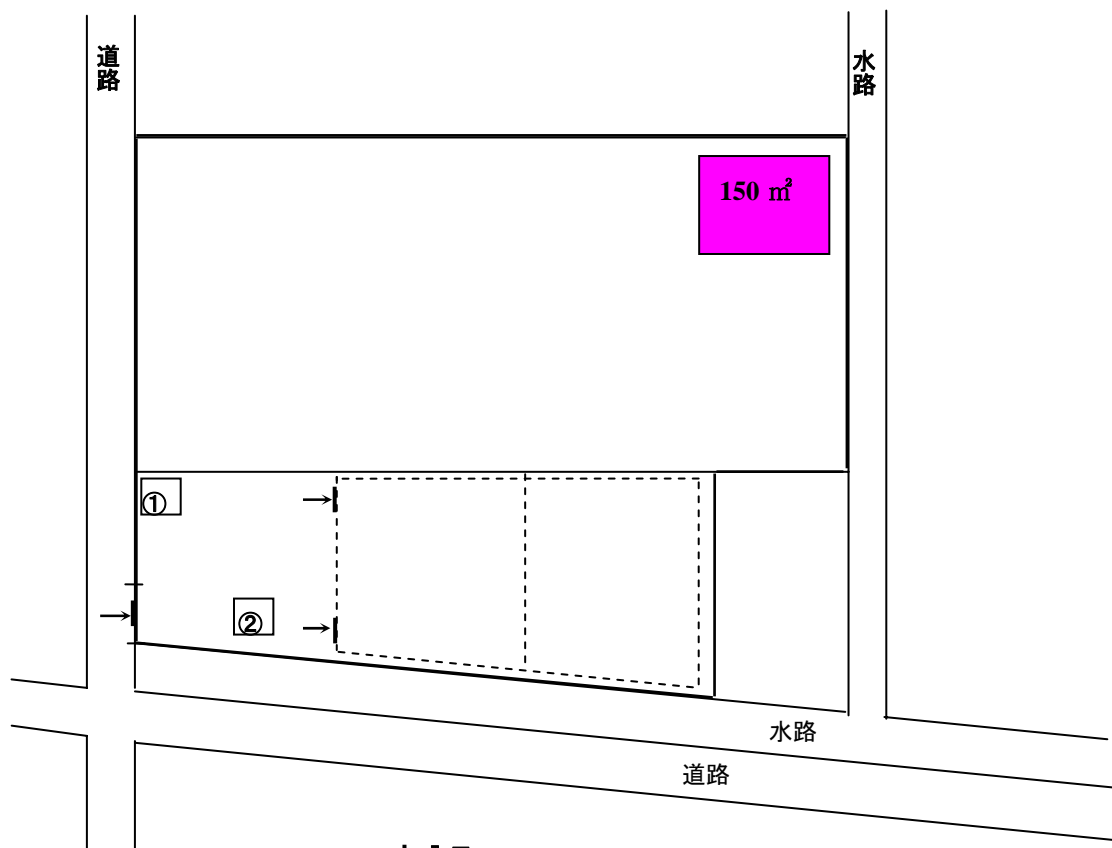
9. その他

(1)これまでの安全性評価の経緯

平成15年6月30日: 食品衛生法に基づき組換えDNA技術応用食品の安全性審査確認終了

平成17年9月14日: 飼料安全法に基づき組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の安全性確認終了

平成19年4月24日: 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律」に基づく安全性確認終了



- | 入口
- フェンス
- 防風網
- 今回の試験場所
- ① 洗場
- ② 焼却炉

隔離圃場全体図及び設備の配置